

楽しみながら学ぶ、それが『巨摩スタイル』。



未知の領域に
正解も近道もないけれど
仲間との絆を心の支えに
臆せず進め 巨摩のはらから



野球応援



SDGsカードゲーム

特集... Special edition

- 第71回白嶺祭／秋の体育祭／生徒会発足
- 目指すはTEPPEN! ～各部活動の軌跡～
ホッケー部・陸上競技部・弓道部・女子バドミントン部
- 高大連携講座

- TGG英語研修／
櫛形山研修／エネルギー研修
- 教頭先生より



校外学習の報告 Field Trip Report



TOKYO GLOBAL GATEWAY 英語研修

国際理解教育の一環として、7月28日(月)、1・2年生48名が、TOKYO GLOBAL GATEWAY(東京都立川市)の体験型英語学習プログラムに参加し、英語コミュニケーション能力の向上と、グローバルな視点で物事を考え、表現する力を養いました。



エネルギー研修

8月22日(金)、1・2年理数創造コース76名が、黒部ダムと大町エネルギー博物館の研修に参加しました。事前学習を踏まえて施設を見学することで、ダムを建設した先人の功績、さらには再生可能エネルギーについて考えを深める機会となりました。

櫛形山研修



この研修は2年生理系の生物選択者が櫛形山の生態系について学び、それを活かして市内の小学生に櫛形山の水生生物を教える体験会です。8月6日(水)の午前に市之瀬川下流域で水生生物を採取、午後学校で顕微鏡の使い方や昆虫のスケッチ方法等を指導しました。

今年、フェンシングの経験者が入学してきた。部活動がないため顧問はおらず、学校での練習もできない状況であったが、小学校の時から通い続けている練習場での個人練習を積み重ね、エペ競技・フルール競技ともに県予選で見事に優勝し、関東大会とインターハイへの出場を果たした。県予選と県外大会すべてを私が引率することになったのだが、テレビでは見たことがあるものの、フェンシングの試合を生で見るのは初めての経験であった。全神経を集中し、一瞬のスキを逃さず剣を突く。突くか突かれるかはほんの一瞬の差であり、その迫力には圧倒される。偶然が重ならなければ決して出会わなかったであろう多くのことを、この年齢になって初めて経験できたことは私にとって大きな喜びである。新たなものに挑み実際に経験してみることで、これまでとは違う刺激を受け、それが自分自身に何かに良い影響を及ぼしているのだと勝手に思いを巡らせている。また、夏の甲子園大会では、本県代表の山梨学院高が4強入り

kyoutou sensei kara
Hi-To-Ko-To
とこ

教頭 浅利 昌史

「雑感」



して盛り上がりを見せた中で、公立高校で唯一4強入りした県岐阜商にも大きな注目が集まった。とりわけ、生まれつき左手の指が欠損していたというハンディを跳ねのけ、レギュラーとして大活躍していた選手への声援や、彼から元氣や勇気をもらったとの声も多く寄せられていた。今夏、あることがきっかけで、音、光など、些細な感覚刺激を鋭く察知したり、場の雰囲気や他人の気分に敏感であったり、深く共感的に考える傾向があるため行動に移すまでに時間がかかったりするなど、見えづらく、気づきにくいハンディや生きづらさを感じている人が大勢いることを知った。周りの人は誰一人として自分と同じではない。それぞれに得意不得意があり、感じ方や捉え方も異なり、何かしら別々のコンプレックスを抱えて生きている。このことを常に意識して、周囲に十分配慮した生活を心がけていきたい。

No.045

巨摩高百景



写真部3年
佐野 琴音(鉾沢(富士川)中学校出身)

「思い出」

友人と話をしたり、笑い合ったり、テスト前に皆で勉強したり、時に先生に怒られたり、全て今の私を作ってくれた。沢山の思い出が詰まった特別な場所。教室は「今しかない時間」を感じさせてくれる。高校生活の3年間はあっという間に過ぎていくけれど、毎日かけがえのない時間を過ごすことのできる教室。残された高校生活、進路や将来に迷うことがあっても、ここでの思い出が私の支えになる...そんな思いから教室を写真に収めてみました。

巨摩高だより

KOMAstyle VOL.77

- 発行...山梨県立巨摩高等学校
〒400-0306 山梨県南アルプス市小笠原1500-2
TEL.055-282-1163 FAX.055-282-1104
- 発行日...令和7年10月31日
- 編集...山梨県立巨摩高等学校 総務・広報部
- 撮影協力...山梨県立巨摩高等学校 写真部

巨摩高校のコト、もっと知りたくなったら、ホームページにアクセス!!

巨摩高校 検索 URL...<http://www.ko.kai.ed.jp/>
E-mail...info@ko.kai.ed.jp

この印刷物は再生可能電力(CO2排出ゼロ電力)で印刷されています。

目指すは TEPPEN!

Club activities ~各部活動の軌跡~



ホッケー部

- 関東大会準優勝
- インターハイ・関東選抜大会出場

「関東選抜に向けて」

3年1組 永沢 瑠杏(白根御勅使中学校出身)

私たちホッケー部は、夏のインターハイやミニ国であと一步のところまで勝てず、とても悔しい思いをしました。しかし、その悔しさは、「自分たちをもっと強くしたい」という気持ちに変わり、チーム一丸となって日々の練習に取り組む大きな原動力となりました。関東選抜では、その思いを力に変え、仲間を信じて最後まで諦めずに戦い、これまで支えてくれた仲間や先生、家族への感謝の気持ちを胸に、一戦一戦心を込めてプレーしたいと思います。関東で必ず優勝して全国選抜の舞台に立ち、最後の大会を悔いなく笑顔で終われるように、そして進化・成長し続ける巨摩高校のホッケーを体現できるように全力で挑みたいと思います。



陸上競技部(男女)

- 県新人大会…男子100m 2位(巨摩高記録) 松尾 ササキ
 - 男子110mH…3位 飯田 隼平
 - 男子400mR…3位 望月 大翔/松尾 ササキ/葉袋 翔太/望月 優馬
 - 女子棒高跳…2位 池田 兒叶・同3位 宮原 凜
- 関東選抜大会出場者多数

「挑戦の先にあった悔しさと喜び」

2年3組 松尾 ササキ(荏崎東中学校出身)

今年は悔しさと喜びの両方を経験した一年でした。関東総体で初めて個人種目の100mに出場しましたが、力を発揮できず、悔しい結果となりました。昨冬から、私は巨摩高の100m記録への挑戦を目標にしてきました。しかし、シーズンの半分が過ぎても自己ベストを更新できず、焦りと不安が募る日々が続きました。それでも自分を信じて挑んだ新人戦では、準決勝で記録を破り、全体1位で決勝に進出することができました。結果は2位でしたが、喜びと悔しさが混じる、忘れられない大会となりました。新体制となった陸上部は、県新人では男女とも総合6位。関東新人を決めた部員は、今年最後の大会となるので、悔いの残らないように全力で挑みたいと思います。



弓道部

- 関東高校弓道個人選手権大会
- 女子個人出場
- 若林 凜華・小松 莉奈・鈴木 莉帆

「新たな経験」

2年4組 小松 莉奈(甲西中学校出身)

私は先日行われた関東高等学校弓道個人選手権大会山梨県予選に出場して第1位となり、関東大会への出場権を得ることができました。決勝では緊張もあり、思うような射ができない場面もありましたが、最後まで粘り強く取り組めたことが自信に繋がりました。関東大会では、県予選とは比べものにならないほど高い技術を持った選手が多く、入賞することはできませんでした。しかし、大舞台で試合ができたことは私にとってとても大きな刺激になりました。大会を通して得た貴重な経験、そしてそこから見えてきた課題は、今後の私にとって大きな糧になると感じます。次の大会ではさらに成長した姿を見られるように弓道部一丸となって精進していきます。



女子バドミントン部

- 県高校一年生大会
- シングルス第3位

「初めての高校生大会」

1年2組 深澤 紅葉(増穂(富士川)中学校出身)

私は、高校1年生大会でベスト4に入るという目標を持って、部活動に励んできました。そして、大会までの間、先輩方と試合をしたり、同級生とアドバイスをし合ったりしながら、練習を重ねてきました。大会当日は緊張してしまい、ミスが続く場面もありましたが、仲間が応援してくれたおかげで、自分の思い描くようなプレーを取り戻すことができました。最終的に第3位という結果になり、当初の目標を達成することができたことは、とても嬉しかったです。一方、この大会で反省点や課題も浮かび上がってきました。次の大会までに課題点をなくせるように、部活動の皆と協力しながら、練習を積んで、さらに上位の結果を残せるように頑張っていきたいと思います。



6/19・20
開催

学年優勝は 3-5・2-5・1-5 が獲得
定時制の模擬店も新規出店

第71回

白嶺祭

テーマ「桜梅桃李 ~一人一人が鮮やかな色に~」
「一致団結」

白嶺祭実行委員長 西川 知宏(田富中学校出身)
皆さん、白嶺祭お疲れ様でした。クラスパフォーマンス、クラス企画、屋台などで精力的に活動している皆さんを見て、巨摩高校が一つになった!と思うことができました。ステージでは、ド派手な演出、圧巻のダンスと劇を見て、たくさん練習したんだろうなあと感じました。特に3年生は今年が最後なのでとても盛り上がっている姿を見せてくれました。もちろん1・2年生も盛り上がっていて良かったです。エンディングでみんなが輪になって踊っているのを見たら、一致団結の手応えと「皆で頑張ってた良かった」という思いでうるっときました。1・2年生の皆さん、来年の白嶺祭も宜しくお願いします。



秋の体育祭 10/7 開催

二人三脚・障害物競走・玉入れ競争・借り物競争・部活動対抗リレー・クラス対抗リレーを実施。秋空の下、笑顔と笑い声のあふれる楽しい1日となりました。

新生徒会 発足

生徒会役員選挙の結果、新生徒会長に飯島友希乃さん(櫛形中学校出身)、新副会長に飯野羽悠さん(若草中学校出身)と石川凜佳さん(甲西中学校出身)が選出されました。

新生徒会長 飯島 友希乃(櫛形中学校出身)

皆さん、こんにちは。新生徒会長の飯島友希乃です。巨摩高校の学校生活をより良いものにするために、1人ひとりの声を大切に、誰もが安心して過ごせる環境を整えていきたいと思っています。学業はもちろん、部活動や学校行事にも力を入れ、毎日楽しく充実させて、笑顔溢れる学校を作っていきます。そうした取り組みを通して、皆さんと共に歩み、共に成長できる生徒会を目指します。御協力よろしくお願いします。



石川さん 飯島さん 飯野さん

「大変さの先にあるもの」

前生徒会長 石川 葵(若草中学校出身)

皆さん、こんにちは。第76代・前生徒会長の石川葵です。まずは全校生徒の皆さん並びに先生方、一年間にわたる生徒会活動への御理解と御協力、本当にありがとうございました。皆さんのお力添えにより、活発な活動が展開できたと感じています。

そして新生徒会役員の皆さん、この度は就任おめでとうございます。生徒会活動をしていく中では、大変だと感じることもたくさん出てくると思います。しかし、そうした時は周りの仲間や先生方と力を合わせて乗り越え、大変さの先にある、やりがいや喜び、楽しさを大切にしていってください。巨摩高校のさらなる発展を楽しみにしています。



山梨大学高大連携講座

山梨大学工学部・生命環境学部の先生方を招き、1年理数創造コースを対象に全4回で実施してきた高大連携講座が、10月3日に今年度最後の講座を迎え、成功裏に終了することができました。

